

科目名 クラス名	経営戦略論		
科目名 (英語)			
担当教員名	見吉 英彦		
ナンバリング	SAd2029		
学科	2025～2026年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 2年／2025～2026年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 2年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 こどもコース 2年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 介護コース 2年／2024～2026年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 2年／2024～2026年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 2年／2024～2026年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 2年／2024～2026年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 2年／2024～2026年度 大学 教育人文学部 心理学科 2年／2024～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 2年／2024～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 2年／2024～2026年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 2年／2024～2026年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 2年		
学年	2年	開講期	2026年度前期
授業形態	講義	単位数	2単位
遠隔授業対象科目			
振替元科目			

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい		
①科目の性格	本科目は、社会情報デザイン学部専門ユニット「経営・マーケティングユニット」に該当する卒業要件選択科目である。	
②科目の概要	経営戦略における基本的な考え方、重要な理論やフレームワークについて学修すると共に、フレームワークを用いたグループワークを行う。	
③授業の方法 (ALを含む)	本科目では、講義による解説を中心として、課題レポートや事例に基づいたディスカッションやグループワークを取り入れた授業を行う。なお、教材や課題は、ポータルサイトで提示する。	リアクションペーパー／レポート／グループワーク／ディスカッション／ケースメソッド
④到達目標	1：経営戦略論の基本概念について説明することができる。 2：経営戦略の策定に用いるフレームワークについて理解し、それらを用いて分析することができる。 3：グループワークやディスカッションを通じて、物事を多面的にかつ論理的に考察し、表現できる。	
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 (右の資質・能力を育成することを目的とする)		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
基礎からの経営戦略論	見吉 英彦	株式会社みらい	978-4-86015-614-5	
推薦書・参考文献				

履修上の助言、教員からのメッセージ	教科書は購入してください。
-------------------	---------------

第1回		
事前学習	授業計画で示された用語に関して各自で調べ、内容を整理しまとめておく。	90分
授業内容	経営戦略とは (戦略の定義、戦略の要素)	
事後学習・次回事前学習	(事後学習) ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 (次回事前学習) 該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分

第2回		
授業内容	外部環境と内部環境（PEST分析、3C/4C分析、SWOT分析）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第3回		
授業内容	業界構造分析（業界構造と利益率、5フォース分析）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第4回		
授業内容	3つの基本戦略（コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中化戦略）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第5回		
授業内容	ケース分析①-業界構造分析【ケースメソッド】	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第6回		
授業内容	リソース・ベースド・ビュー（VRIO分析、コア・コンピタンス）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第7回		
授業内容	ビジネスシステムの重要性（ビジネスモデルとビジネスシステム）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第8回		
授業内容	全社戦略と製品ライフサイクル（導入期、成長期、成熟期、衰退期の戦略）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第9回		
授業内容	多角化（多角化とシナジー効果）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第10回		
授業内容	ケース分析②-ビジネスシステム分析【グループワーク】【ディスカッション】【ケースメソッド】	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第11回		
授業内容	リストラクチャリング（PPMの枠組みと戦略的意義）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第12回		

授業内容	M&A (M&Aとは、メリットとデメリット)	
事後学習・次回事前学習	(事後学習) ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 (次回事前学習) 該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第13回		
授業内容	イノベーション戦略 (イノベーションとは、オープン・イノベーション)	
事後学習・次回事前学習	(事後学習) ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 (次回事前学習) 該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第14回		
授業内容	ケース分析③-経営者の意思決定【グループワーク】【ディスカッション】【ケースメソッド】	
事後学習・次回事前学習	(事後学習) ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 (次回事前学習) 1~14回までに学んだ内容を復習し、理解できている点と理解できていない点を明らかにしておく。	180分
第15回		
授業内容	まとめ	
事後学習	授業の総まとめの内容を、A4用紙2枚にまとめておく。	90分

フィードバック	毎回の授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学修の理解を深められるようにする。また、課題レポートに関しては、次回以降の授業時に解説・総評を行う。	
評価方法および評価の基準	<p>授業内でのディスカッション (30%) ならびに課題レポート (70%) で評価し、60点以上を合格とする</p> <p>1: 経営戦略論の基本概念について説明することができる。 (授業内ディスカッション: 5%/30% レポート: 40%/70%)</p> <p>2: 経営戦略の策定に用いるフレームワークについて理解し、それらを用いて分析することができる。 (授業内ディスカッション: 10%/30% レポート: 30%/70%)</p> <p>3: グループワークやディスカッションを通じて、物事を多面的にかつ論理的に考察し、表現できる。 (授業内ディスカッション: 15%/30%)</p>	

ループリック		評価基準				
DP	評価項目	【S】 到達目標以上に達している	【A】 到達目標を十分に達成できている	【B】 到達目標を達成できている (到達目標)	【C】 到達目標を最低限度は達成できている	評価方法
ビジネスに関する基礎的知識の修得	経営戦略に関する理解度(50%)	経営戦略に関する知識を習得し、企業における事例に対しても詳細に説明できる。	経営戦略に関する知識を習得し、詳細に説明できる。	経営戦略に関する知識を習得し、説明できる。	経営戦略に関する知識を習得し、部分的に説明できる。	(授業内ディスカッション: 15% レポート: 35%)
ビジネス上の課題を発見・解決するための情報収集・活用力	フレームワークを用いた分析(50%)	授業で学んだフレームワークを用いて企業に対する分析ができ、分析結果に対して考察と新たな戦略の提案ができる。	授業で学んだフレームワークを用いて企業に対する分析ができ、分析結果に対する考察ができる。	授業で学んだフレームワークを用いて企業に対する分析ができる。	授業で学んだフレームワークを用いて企業に対する分析が部分的にできる。	(授業内ディスカッション: 15% レポート: 35%)